

社会福祉学科			社会福祉 専攻			
科目名: 生と死の倫理学			担当教員 氏名: 宮島 光志			
単 位	開講時期(年次・期)	科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考	
2	2年次 前期	総合科目	講義	選択		
実務経験を用いてどのような授業を行っているか:						
授業科目の学習教育目標の概要:					キーワード	
この授業では、人間の生と死をめぐる多様な倫理問題に関する近年の動向を検討し、複雑な現代社会で「善く生きる」(納得のいく人生を歩む)ための心得を学習します。そうした学習を通じて、「人生という物語」に対する共感的な理解の能力を高めながら、福祉・介護関連の仕事に携わることの責任を自覚してもらいます。					・道徳と倫理 ・地域社会 ・幸福度とQOL ・自立/自律 ・インフォームドコンセント ・人間の尊厳 ・医療倫理 ・ケア ・物語	
授業における学修の到達目標						
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号)		1. 2. 3. 6. 7. 10	
A 知識・理解力			人間の尊厳、人生の意味と幸福、社会の成り立ちについて広く知り、理解を深める。			
C 論理的思考力			何が善であり、倫理的に正しいことであるかを、論理的に(根拠に基づいて)考察する。			
D 問題解決力			医療・福祉・介護の現場における倫理的な葛藤を分析し、問題解決の方策を話し合う。			
F チームワーク・リーダーシップ			グループワーク(事例検討)を通じて、多職種連携に必要な協調性と指導力を涵養する。			
G 倫理観			医療倫理の考え方を理解し、利用者と家族の人権を守るための倫理的配慮ができる。			
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする						
テスト: 60 %	レポート: 0 %	発表: 40 %	実技試験: 0 %	その他: 0 %		
特記事項: 本科目はアクティブラーニングの一環として、ビデオ教材(ドラマ)や新聞記事を用いた事例検討(問題発見と課題解決)をグループワークとして実施します。						
アクティブラーニング要素: 課題解決型学習、ディスカッション、ディベート、グループワーク、プレゼンテーション、実習、フィールドワーク						
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: 小テスト(復習と予習に関する確認)を講義3回に1回を目安として(合計5回)実施するほか、グループワークによる「事例検討」とその成果の発表を講義2回に1回を目安として(合計7回)実施します。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: 小テストを5回、講義の冒頭で行い、そのつど採点して次回に返却します。						
授 業 計 画			準備学習(予習・復習等)			
			学習内容	学習に必要な時間(分)		
①[導入1]人間の尊厳と自立: 人間の尊厳と人権・福祉理念について			【予習】講義概要を熟読しておく。【復習】講義資料のポイントを整理する。【予習】20分【復習】40分			
②[導入2]人間の尊厳と自立: ドラマによるケーススタディ[1]			【予習】予習用資料を熟読する。【復習】講義資料のポイントを整理する。【予習】50分【復習】40分			
③[導入3]人間の尊厳と自立: 自立のあり方について			【予習】予習用資料を熟読する。【復習】講義資料のポイントを整理する。【予習】50分【復習】40分			
④コメディカル生命倫理; 第1回小テスト(①~③の確認 15点分)			【予習】小テストの準備、テキストの熟読。【復習】講義資料のポイントを整理する。【予習】70分【復習】20分			
⑤いのちの誕生における倫理的課題(その1); ドラマによるケーススタディ[2]			【予習】テキストの指定範囲を熟読する。【復習】講義資料のポイントを整理する。【予習】50分【復習】40分			
⑥いのちの誕生における倫理的課題(その2); ドラマによるケーススタディ[3]			【予習】テキストの指定範囲を熟読する。【復習】講義資料のポイントを整理する。【予習】50分【復習】40分			
⑦いのちの誕生における倫理的課題(その3); ドラマによるケーススタディ[4]			【予習】テキストの指定範囲を熟読する。【復習】講義資料のポイントを整理する。【予習】50分【復習】40分			
⑧インフォームドコンセント; 第2回小テスト(④~⑦の確認 15点分)			【予習】小テストの準備、テキストの熟読。【復習】講義資料のポイントを整理する。【予習】70分【復習】20分			
⑨臓器移植に関する倫理; ドラマによるケーススタディ[5]			【予習】テキストの指定範囲を熟読する。【復習】講義資料のポイントを整理する。【予習】50分【復習】40分			
⑩高齢者医療における倫理的課題(その1); 第3回小テスト(⑧と⑨の確認 10点分)			【予習】小テストの準備、テキストの熟読。【復習】講義資料のポイントを整理する。【予習】70分【復習】20分			
⑪高齢者医療における倫理的課題(その2); ドラマによるケーススタディ[6]			【予習】テキストの指定範囲を熟読する。【復習】講義資料のポイントを整理する。【予習】50分【復習】40分			
⑫死に関連する倫理的課題; 第4回小テスト(⑩と⑪の確認 10点分)			【予習】小テストの準備、テキストの熟読。【復習】講義資料のポイントを整理する。【予習】70分【復習】20分			
⑬尊厳死と安楽死; ドラマによるケーススタディ[7]			【予習】テキストの指定範囲を熟読する。【復習】講義資料のポイントを整理する。【予習】50分【復習】40分			
⑭児童虐待と生命倫理; 第5回小テスト(⑫と⑬の確認 10点分)			【予習】小テストの準備、テキストの熟読。【復習】講義資料のポイントを整理する。【予習】70分【復習】20分			
⑮発達障がいと生命倫理; [総まとめ]〈生と死の倫理学〉と福祉・介護			【予習】テキストの指定範囲を熟読する。【復習】講義資料のポイントを整理する。【予習】50分【復習】40分			
使用テキスト: 金子・金内ほか(編集)『学生と考える生命倫理[第2版]』(ナカニシヤ出版、2018、ISBN-10:4779512212)			その他参考文献など: 介護福祉士養成講座編集委員会(編集)『人間の理解(最新 介護福祉士養成講座 1)』(中央法規出版、2019)			
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): この授業を履修しようと思う学生は必ず初回の講義に出席してください(原則として、第2回講義からの履修は認められません)。また、毎回の講義には事前学修(予習)をした上で出席し、講義時間内のグループワーク(事例検討)にももしっかり取り組んでください。						